

平成17年度当初予算協議項目一覧

都市整備局

(単位:千円)

番号	事業名及び所管課	前年度 予算額	要求額	調査額	事業の概要	調査額の考え方														
1	都市づくり先進情報技術展関連事業費 [都市政策課]	20,670	25,299	25,072	都市づくり先進情報技術展 (IT CITY MESSE in GIFU) の開催経費 ・期日：平成17年7月14日～15日(予定) ・内容：都市づくりに関する情報技術の展示・事例発表等 (GIS、ITS、建設cals、住宅、物流システムなど) ※同時開催：都市づくり情報化推進研究会(講演・シンポジウム) 河川環境メッセ、ITSセミナー															
2	いきいき福祉のまちづくり構想推進事業費 [都市整備課・住宅課]	140,865	344,642	340,742	高齢者が生涯安心して生活できる福祉のまちづくりを総合的に推進するため、高齢者向けケア付き住宅の供給を促進 【背景】高齢化が進展する中、ケア付き住宅への住み替えニーズ増大 県内の高齢者向け賃貸住宅の民間市場は極めて未成熟 →活性化策の一環として県住宅供給公社がモデル事業を実施 ○岐阜西地区市街地再開発事業 ＜再開発ビル「岐阜シティ・タワー43」＞ 高さ163m住宅系で中部一 事業主体：岐阜西地区市街地再開発組合 事業期間：H16～H19 (工期約32ヵ月、H17.1着工済) 総事業費：15,749,663千円 支援策① 市街地再開発事業助成費 (再開発組合への補助) [負担区分：国1/3、県3/20、岐阜市11/60、組合1/3] 補助総額 4,807,800千円 (うち県費 1,081,755千円) 支援策② 高齢者向けケア付き住宅モデル事業建設費補助金 (ケア付き住宅整備に対する県住宅供給公社への補助) [負担区分：国1/6、県1/6、公社2/3] 補助総額 392,634千円 (うち県費 196,317千円)	「岐阜シティ・タワー43」のフロア構成 <table border="1"> <tr><td>43階</td><td>スカイラウンジ</td></tr> <tr><td>42～15階</td><td>分譲マンション 243戸 (民間事業者)</td></tr> <tr><td>14～6階</td><td>高齢者向け賃貸住宅 108戸 (住宅供給公社整備・運営)</td></tr> <tr><td>4階</td><td>岐阜放送本社</td></tr> <tr><td>3階</td><td>福祉・医療施設 (住宅供給公社整備 →福祉・医療法人運営)</td></tr> <tr><td>2～1階</td><td>商業施設</td></tr> <tr><td>地階</td><td>駐車場 (商業施設用)</td></tr> </table>	43階	スカイラウンジ	42～15階	分譲マンション 243戸 (民間事業者)	14～6階	高齢者向け賃貸住宅 108戸 (住宅供給公社整備・運営)	4階	岐阜放送本社	3階	福祉・医療施設 (住宅供給公社整備 →福祉・医療法人運営)	2～1階	商業施設	地階	駐車場 (商業施設用)
43階	スカイラウンジ																			
42～15階	分譲マンション 243戸 (民間事業者)																			
14～6階	高齢者向け賃貸住宅 108戸 (住宅供給公社整備・運営)																			
4階	岐阜放送本社																			
3階	福祉・医療施設 (住宅供給公社整備 →福祉・医療法人運営)																			
2～1階	商業施設																			
地階	駐車場 (商業施設用)																			
3	名古屋鉄道高架化事業調査費 [都市整備課]	10,000	10,000	10,000	名古屋鉄道名古屋本線高架化事業の事業化に向けた着工準備調査 【高架事業 (名古屋鉄道名古屋本線連続立体交差事業) の概要】 ・事業区間：名鉄名古屋本線 岐南駅～名鉄岐阜駅間 (L=2.1km) ・関連事業：加納・茶所駅周辺土地区画整理事業 (岐阜市施行) ・負担区分：名鉄7%、その他 (国1/2、県1/4、岐阜市1/4) 【経緯】 H4 地元住民からの高架化要望を受け翌年度から調査開始 H8～ 地元住民による基本構想素案策定 H11 新規着工準備採択 H15 事業再評価 → 継続															

平成17年度当初予算協議項目一覧

都市整備局

(単位:千円)

番号	事業名及び所管課	前年度 予算額	要求額	調査額	事業の概要	調査額の考え方																										
4	花フェスタ2005推進費 [花フェスタ推進室]	179,400	342,421	341,560	<p>「花フェスタ2005ぎふ」の開催経費</p> <p>【開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正式名称：花の都ぎふ運動15周年記念 花フェスタ2005ぎふ 開催場所：花フェスタ記念公園(県営都市公園) <可児市瀬田> 開催期間：2005年3月1日(火)～6月12日(日) 104日間 実施主体：花フェスタ2005ぎふ実行委員会 <p>【事業の位置づけ・目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民総参加で推進する「花の都ぎふ」運動の15周年記念事業 2005年日本国際博覧会連携イベント → 中部圏との連携 交流人口の増加による交流産業の振興 [目標入場者数 100万人] <p>【主な事業内容(H17年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブライコンサート開催事業費 [全額宝くじ収入充当] 15,000千円 実行委員会負担金 [全額寄附金収入充当] 284,172千円 [イベント宝くじ収益事業] 開催支援費(県イベント等) 30,888千円 市町村イベント補助金(県2/3) 8,000千円 <p>◎総事業費(H15～17) 1,448,909千円[うち県負担金500,000千円]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会負担金の財源については、全額「花の都ぎふ推進基金」からの寄附金を充当すること。 イベント宝くじ収益金充当事業は収益金の範囲内で実施すること。 																										
	<p>「花フェスタ2005ぎふ」と「花フェスタ'95」との比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>花フェスタ2005ぎふ</th> <th>花フェスタ'95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催期間</td> <td>104日間 [H17.3.1～6.12]</td> <td>40日間 [H7.4.26～6.4]</td> </tr> <tr> <td>開催テーマ</td> <td>210万人の生命の輝き</td> <td>未来へー花・夢・人</td> </tr> <tr> <td>キャッチフレーズ</td> <td>花フェスタは人フェスタ</td> <td>地に花、人に愛</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>目標 100万人</td> <td>目標 50万人(努力目標70万人) 実績 191万5,657人</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>実行委員会予算 1,448,909千円</td> <td>収入 3,491,127千円 支出 2,486,845千円</td> </tr> <tr> <td>[うち県費]</td> <td>[500,000千円]</td> <td>[1,000,000千円]</td> </tr> <tr> <td>入場料 (普通入場券)</td> <td>前売り 当日 大人 800円 1000円 高校生・シルバー 500円 700円 小中学生 300円 500円</td> <td>前売り 当日 大人 1000円 1200円 高校生・シルバー 600円 800円 小中学生 400円 600円</td> </tr> <tr> <td>特記事項</td> <td>「花の都ぎふ」運動15周年記念</td> <td>「国際花と緑の博覧会」5周年記念 「花の都ぎふ」運動5周年記念</td> </tr> </tbody> </table>		花フェスタ2005ぎふ	花フェスタ'95	開催期間	104日間 [H17.3.1～6.12]	40日間 [H7.4.26～6.4]	開催テーマ	210万人の生命の輝き	未来へー花・夢・人	キャッチフレーズ	花フェスタは人フェスタ	地に花、人に愛	入場者数	目標 100万人	目標 50万人(努力目標70万人) 実績 191万5,657人	総事業費	実行委員会予算 1,448,909千円	収入 3,491,127千円 支出 2,486,845千円	[うち県費]	[500,000千円]	[1,000,000千円]	入場料 (普通入場券)	前売り 当日 大人 800円 1000円 高校生・シルバー 500円 700円 小中学生 300円 500円	前売り 当日 大人 1000円 1200円 高校生・シルバー 600円 800円 小中学生 400円 600円	特記事項	「花の都ぎふ」運動15周年記念	「国際花と緑の博覧会」5周年記念 「花の都ぎふ」運動5周年記念				
	花フェスタ2005ぎふ	花フェスタ'95																														
開催期間	104日間 [H17.3.1～6.12]	40日間 [H7.4.26～6.4]																														
開催テーマ	210万人の生命の輝き	未来へー花・夢・人																														
キャッチフレーズ	花フェスタは人フェスタ	地に花、人に愛																														
入場者数	目標 100万人	目標 50万人(努力目標70万人) 実績 191万5,657人																														
総事業費	実行委員会予算 1,448,909千円	収入 3,491,127千円 支出 2,486,845千円																														
[うち県費]	[500,000千円]	[1,000,000千円]																														
入場料 (普通入場券)	前売り 当日 大人 800円 1000円 高校生・シルバー 500円 700円 小中学生 300円 500円	前売り 当日 大人 1000円 1200円 高校生・シルバー 600円 800円 小中学生 400円 600円																														
特記事項	「花の都ぎふ」運動15周年記念	「国際花と緑の博覧会」5周年記念 「花の都ぎふ」運動5周年記念																														
5	都市公園維持管理費(養老・百年・各務原公園) [公園緑地課]	306,394	269,438	266,479	<p>17年9月より指定管理者制へ移行を予定する養老、百年、各務原の各公園の維持管理に要する経費</p> <p>【指定管理者制度】</p> <p>公の施設の管理の主体を法律上限定せず、知事等が指定する者(指定管理者)に管理を行わせる仕組み(H15 地方自治法一部改正)</p> <p>→ 公の施設の管理に民間事業者の手法を活用</p> <p>→ 行政サービスの質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 養老公園：H15→16の予算削減率△7.5%の実績を踏まえ、要求(H15決算ベース)の△5%をベースに所要額を計上 百年・各務原公園：H15→16のアウトソーサへの契約実績の伸率(百年△0.1%・各務原0.0%)を踏まえ、H16契約額と同額をベースに所要額を計上 																										
6	平成記念公園整備費 [公園緑地課]	886,040	888,144	883,358	<p>平成記念公園(日本昭和村)の整備・運営に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> H15.4 供用開始。初年度(15年度)は予想を大きく上回る集客。 <p>【公園の基本的な位置づけ・役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「美濃ミュージアム街道」の中核拠点 県内産農産物を始めとする県産品の見本市 県下の「道の駅」・観光の総合情報センター <p>【H17の主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地先行取得に係る買戻し(公共・単建) 262,247千円 ※公社先行取得用地の再取得は平成17年度で終了 土地開発公社への委託料(既設債務負担分) 615,735千円 過年度実施の収益施設・民家移築整備等に係る委託料の支払い<予算計上を見送るもの> 寄贈木の移植に係る造園工事 - (4,336)千円 民家移築に係る公社委託料[債務負担行為] - (139,549)千円 <p>【営業料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立施設の運営から得る利益の還元の観点から、運営主体である(株)ファームから毎年度営業料を徴収。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄贈木移植、民家移築等の新たな投資については、総点検をするなかで今後の方針を明確にしていくものとし、関連経費(債務負担行為新設を含む)の計上を見送る。 																										
	<p>平成記念公園の概要</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>平成記念公園(日本昭和村)</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>美濃加茂市山之上町及び蜂屋町地内</td> </tr> <tr> <td>開園</td> <td>平成15年4月16日</td> </tr> <tr> <td>規模等</td> <td>開園面積約80ha[計画面積160ha](駐車場3,000台)</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>21,799百万円(うち用地費9,811百万円)</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>[県費:5,925百万円、国補:5,198百万円、県債:10,676百万円]</td> </tr> <tr> <td>運営主体</td> <td>(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター(管理委託) → 財団が(株)ファーム(本社:愛媛県西条市)に業務委託</td> </tr> <tr> <td>職員数</td> <td>約200名(正職員39名、パート・アルバイト161名)</td> </tr> <tr> <td>主要施設</td> <td>おんさい館(県産品の大型売店)・食の工房 創作体験館(竹とんぼ・和風・お手玉等)・木工体験館 昭和銭湯「里山の湯」・能楽堂 等</td> </tr> <tr> <td>入園料金</td> <td>大人 800円(中学生以上)・小人 400円 ※冬季割引有り</td> </tr> <tr> <td>入園者数</td> <td>1,503,432人(平成15年度)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	平成記念公園(日本昭和村)	所在地	美濃加茂市山之上町及び蜂屋町地内	開園	平成15年4月16日	規模等	開園面積約80ha[計画面積160ha](駐車場3,000台)	総事業費	21,799百万円(うち用地費9,811百万円)	財源内訳	[県費:5,925百万円、国補:5,198百万円、県債:10,676百万円]	運営主体	(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター(管理委託) → 財団が(株)ファーム(本社:愛媛県西条市)に業務委託	職員数	約200名(正職員39名、パート・アルバイト161名)	主要施設	おんさい館(県産品の大型売店)・食の工房 創作体験館(竹とんぼ・和風・お手玉等)・木工体験館 昭和銭湯「里山の湯」・能楽堂 等	入園料金	大人 800円(中学生以上)・小人 400円 ※冬季割引有り	入園者数	1,503,432人(平成15年度)									
名称	平成記念公園(日本昭和村)																															
所在地	美濃加茂市山之上町及び蜂屋町地内																															
開園	平成15年4月16日																															
規模等	開園面積約80ha[計画面積160ha](駐車場3,000台)																															
総事業費	21,799百万円(うち用地費9,811百万円)																															
財源内訳	[県費:5,925百万円、国補:5,198百万円、県債:10,676百万円]																															
運営主体	(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター(管理委託) → 財団が(株)ファーム(本社:愛媛県西条市)に業務委託																															
職員数	約200名(正職員39名、パート・アルバイト161名)																															
主要施設	おんさい館(県産品の大型売店)・食の工房 創作体験館(竹とんぼ・和風・お手玉等)・木工体験館 昭和銭湯「里山の湯」・能楽堂 等																															
入園料金	大人 800円(中学生以上)・小人 400円 ※冬季割引有り																															
入園者数	1,503,432人(平成15年度)																															

平成17年度当初予算協議項目一覧

(単位:千円)

番号	事業名及び所管課	前年度 予算額	要求額	調査額	事業の概要	調査額の考え方
9	建築物地震災害対策費 [建築指導課]	66,600	66,295	66,200	○「木造住宅の耐震性能向上」と余震等による2次的災害を未然に防止するための「震後対策」を両輪とした建築物地震対策を実施 ・木造住宅耐震診断促進費(2,000件→2,000件) 10,000千円 ・木造住宅耐震補強工事補助金(170件→170件) 50,000千円 ・耐震補強工事促進費(相談会開催:各圏域3回→5回) 2,100千円 ・応急危険度判定体制の整備 4,100(4,195)千円	
10	北方住宅建替事業費 [住宅課]	1,159,427	1,060,700	1,060,520	県営北方住宅北ブロックA棟の建替及び併設する建築情報センターの整備及び管理運営 北方住宅 建替前戸数:1,074戸(南ブロック238戸・北ブロック836戸) 建設時期:昭和40年~45年 ※ 県営住宅 全13カ所 4,589戸 【建替の概要】 ＜南ブロック(通称:ハイトウン北方)>(H11までに建替済) ・建替前 238戸 → 建替後430戸、総事業費:10,415百万円 ＜北ブロック建替整備(整備中)>(H13~23を予定) ・建替前 836戸 → 建替後620戸(A棟・B棟・C棟) 【H17事業概要】 ・A棟Ⅰ期本体工事<121戸> 991,248千円(H15~17債) ・A棟Ⅱ期(Ⅰ期121戸分の駐車場整備) 26,620千円 ・建築情報センター工事負担金 38,674千円(H15~17債)他 ※建築情報センター(A棟に併設、H18.1供用開始予定) →北方住宅建替事業の紹介(映像、模型、パネル) 県営住宅、まちづくりに関する情報提供	
11	流域下水道特別会計 [上下水道課]	7,100,103	7,100,020	7,036,367	木曾川右岸流域下水道(対象:4市8町)における污水处理施設の建設及び維持管理(H3~処理場<各務原浄化センター>供用開始) 【事業概要】 ・計画処理人口:513,340人(H15末現在 水洗化人口:250,079人) ・計画汚水量:346,800m ³ /日最大(H15末現在 108,000m ³ /日) →処理場整備進捗率31%(污水幹線、ポンプ場は概成) 【主な事業内容(H17)】 ・建設費(水処理池、急速ろ過池等の増設) 2,910,787千円 [負担区分:国1/2(2/3)、県1/4(1/6)、市町1/4(1/6)] ・維持管理費 1,987,853(2,051,506)千円 [負担区分:一部経費を除き、全額を市町が負担] ※污水处理に係る維持管理業務は(財)県浄水事業公社に委託 ・公債費(過年度の建設に充当した地方債の償還) 2,070,200千円 ◎汚水流入量の動向を慎重に見極めながら、処理施設の増設を計画的に実施	

平成17年度当初予算協議項目一覧

番号	事業名及び所管課	前年度 予算額	要求額	調査額	事業の概要	調査額の考え方
12	水道事業(地方公営企業) [水道企業課]	9,765,399	8,996,246	8,812,606	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和55年：水道水の供給開始【東濃、可茂地域7市6町の要請】 ・創設当初：28万人 → 現在：約50万人の生活用水を市町に供給 <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定給水と健全経営を確保している (自己資本比率・総資本利益率は全国平均以上) ・料金水準：全国並 ・水需要の増加【下流域(多治見市・可児市)】 → 施設拡充が必要 ・創設後約30年経過 → 大規模な施設更新時期を迎えている ・危機管理対策の強化が求められており、計画的に施設建設を行っている【災害に強い水道づくり＝施設の耐震化、災害時連絡管】 <p>【主な建設事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可茂第三次拡張事業 165,351(178,101) 可茂地域の今後の水需要増加に対応するための施設拡充 ・東濃西部送水幹線(緊急時連絡管)事業 799,063(833,823) 緊急時等の供給安定性向上のため、東濃・可茂の連絡管を整備 	
13	工業用水道事業(地方公営企業) [水道企業課]	120,051	136,046	136,084	<p>○可茂地域の工場等に対する工業用水供給事業 維持管理及び企業債元利償還金に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益的収入 59,348 ・収益的支出 56,976(56,938) ・資本的収入 35,493 ・資本的支出 79,108 	